

カクチョウラン

ぜつめつ きく
絶滅危惧Ⅱ

学名	Phaius tancarvilleae
科名	ラン
別名	カクラン
区分	草本類
分布	鹿児島（種子島、屋久島以南）、 沖縄、台湾等



葉の形	長楕円形
葉の縁	全縁
葉の先	鋭尖形
葉の種類	
葉の付方	束生
葉の基部	
実の種類	蒴果
花・萼色	白色で内側は赤褐色

山地の荒れ地や林道沿いの常緑広葉樹林の下に生え、高さ60-120cmの多年生の草本です。葉は厚く革質、2枚から3枚で長さ70cm程度です。花は総状花序で茎の高さは60-70cm、外側が白く、内側は赤褐色をしています。

説
明